



新柏・増尾地区における治水対策について

令和7年11月29日（土）
河川排水課



目 次

1	気候変動と近年の水害	2
2	柏市の地理と歴史	4
3	新柏・増尾地区における治水対策 ...	7
4	これからの日本の防災	17
5	柏市止水板設置工事補助制度	19

1 気候変動と近年の水害



現在



世界の平均気温
過去100年で**0.8℃**上昇

未来

あと80年で
さらに最大**4.8℃**上昇

気候変動に関する政府間パネル評価報告書



短時間強雨の発生件数
30年前の約**1.4倍**に増加

時間降雨量50mm以上の雨
発生回数が**2倍**以上に増加

気象庁 地球温暖化予測情報

さらに・・・



南海上で台風の発生頻度が高まり、進路は北寄り
線状降水帯の出現によって、記録的な豪雨が継続

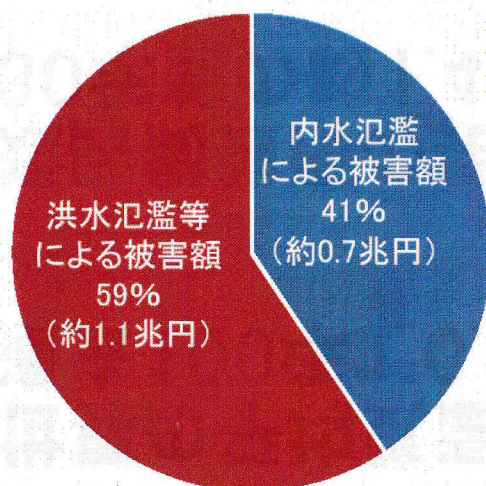
1 気候変動と近年の水害



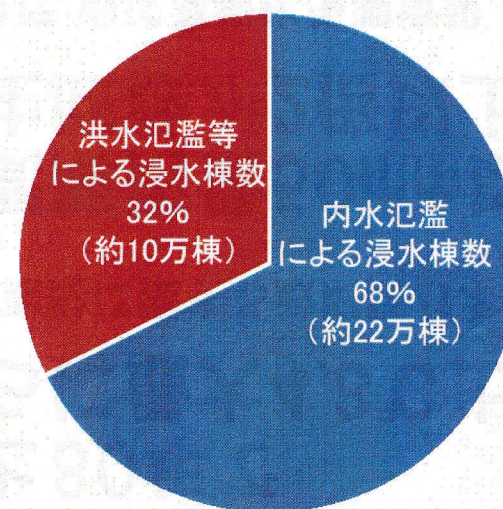
外水氾濫 … 河川から溢れて発生。

内水氾濫 … 降った雨が河川等に排水出来ずに発生。

【被害額】＜全国＞



【浸水棟数】＜全国＞



水害統計
(平成20～29年)

氾濫被害額の41%は**内水氾濫**

浸水棟数の68%は**内水氾濫**

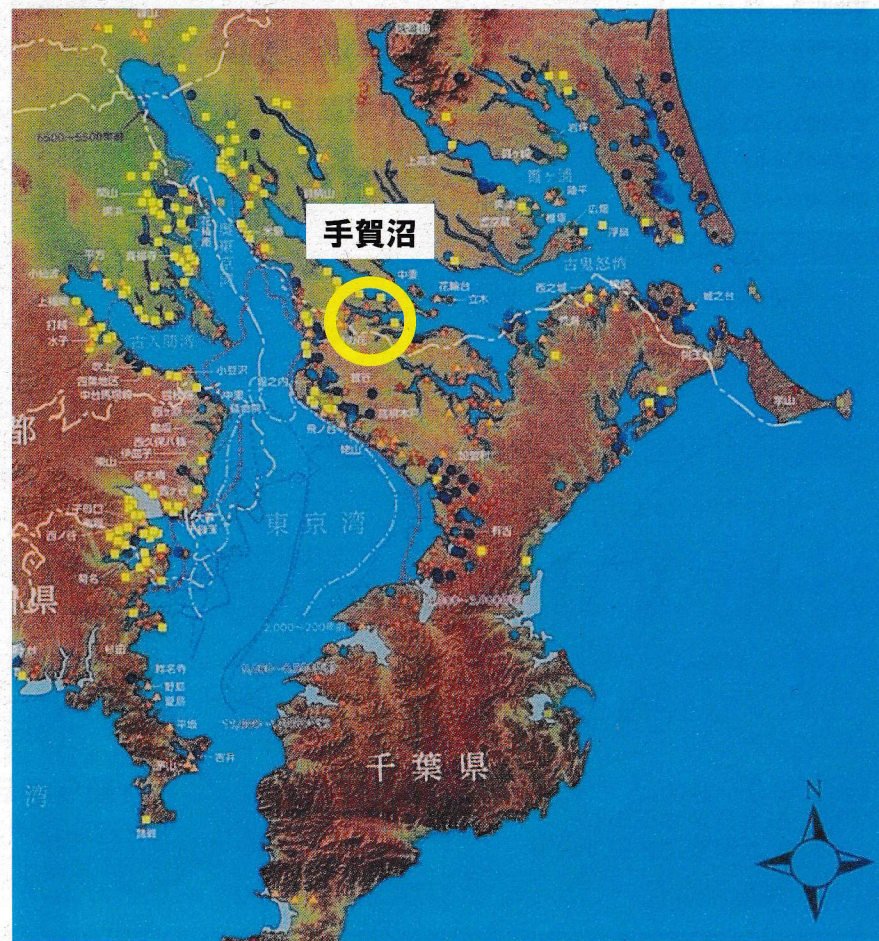
2 柏市の地理と歴史

縄文海進（約6千年前）

氷河期が温暖化によって
終わり、海面は現在より
約4.4m 高く、関東平野
の多くが海だった。



現在の手賀沼は香取海の
入江の一部であり、**柏市**
の**内陸まで海岸**だった。



2 柏市の地理と歴史

内水ハザードマップ

令和6年10月作成（柏市上下水道局）
最大降雨量 153mm/h を想定した場合、
浸水可能性のある地域を表示。

新柏・増尾地区では、
带状の低地（谷津）が
浸水可能性のある場所。

一帯の**雨水管**を整備、
付近に**貯留施設**を設置
して豪雨に備える。

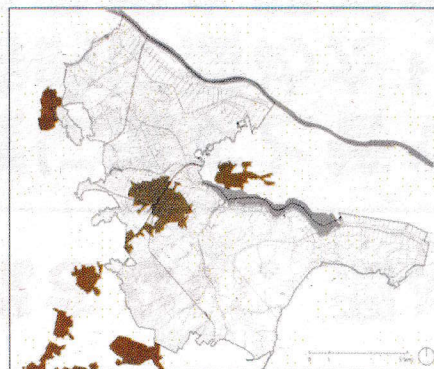


2 柏市の地理と歴史

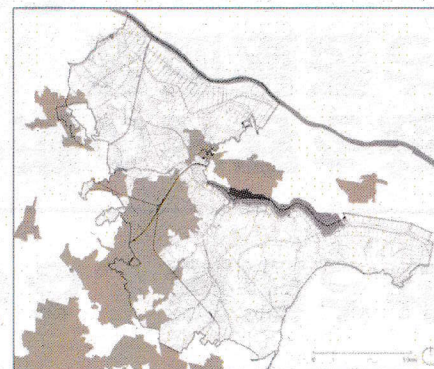


1954年 (昭和29年)	柏市誕生
1964年 (昭和39年)	人口10万人突破
1970年 (昭和45年)	国道16号開通
1972年 (昭和47年)	柏駅に快速停車
1975年 (昭和50年)	人口20万人突破
1978年 (昭和53年)	増尾西小開校
1981年 (昭和56年)	増尾K C開設
1983年 (昭和58年)	新柏駅開業
1985年 (昭和60年)	常磐高速道開通
1989年 (平成元年)	人口30万人突破
2005年 (平成17年)	沼南町と合併
2008年 (平成20年)	中核市となる
2010年 (平成22年)	人口40万人突破

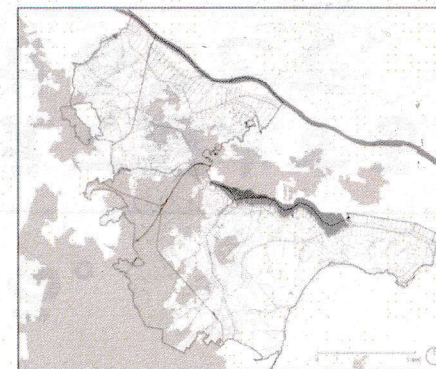
人口集中地区の変遷



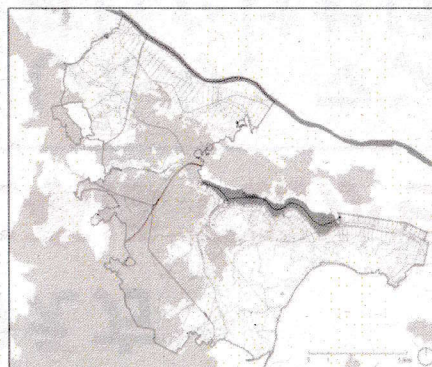
昭和48年



昭和50年



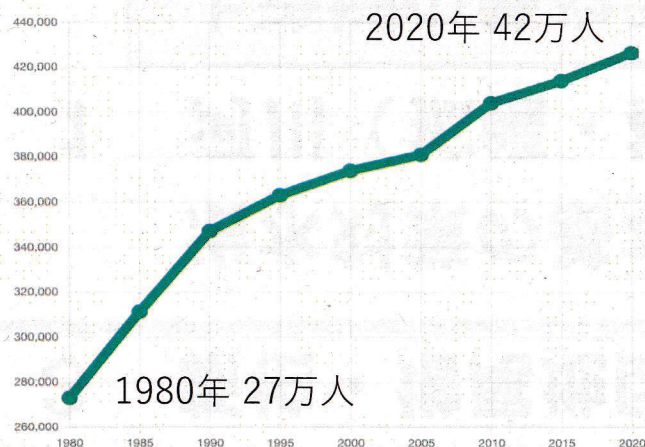
昭和60年



平成17年



平成29年



3 新柏・増尾地区における治水対策



治水対策の基本的な考え方

1 河川（拡幅・補強）**工事は下流から。**

上流域の管や溝を太くしたり、マンホールを増やしても、下流域の水路や河川を拡げなければ、流末で溢水する。

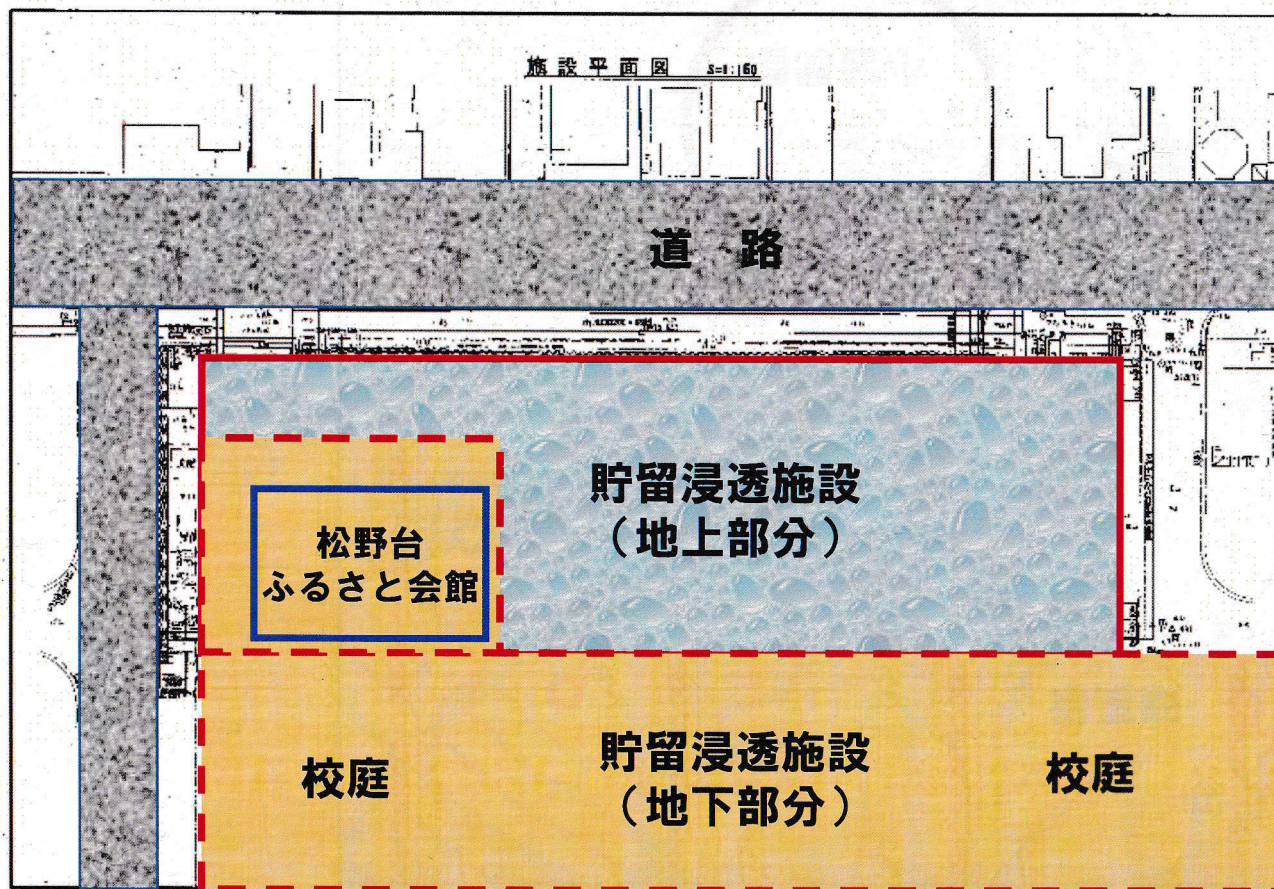
2 雨水は**一気に流さない**。溜める、浸透させる。

降った雨を一度に流すと管や溝の許容を超えて冠水する。貯留施設で一時的に溜めたり、路面浸透させることで、下流の管や溝の負担を軽減する。

3 新柏・増尾地区における治水対策：① 増尾西小



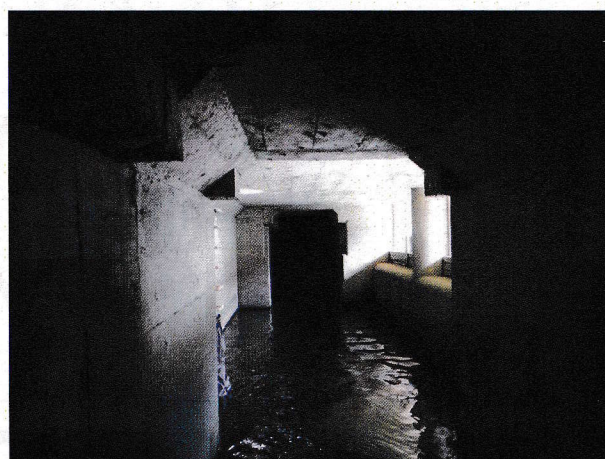
3 新柏・増尾地区における治水対策：① 増尾西小



工事完了
昭和60年6月

有効貯水量
23,700 m³

3 新柏・増尾地区における治水対策：① 増尾西小



3 新柏・増尾地区における治水対策：② 土中



3 新柏・増尾地区における治水対策：② 土中

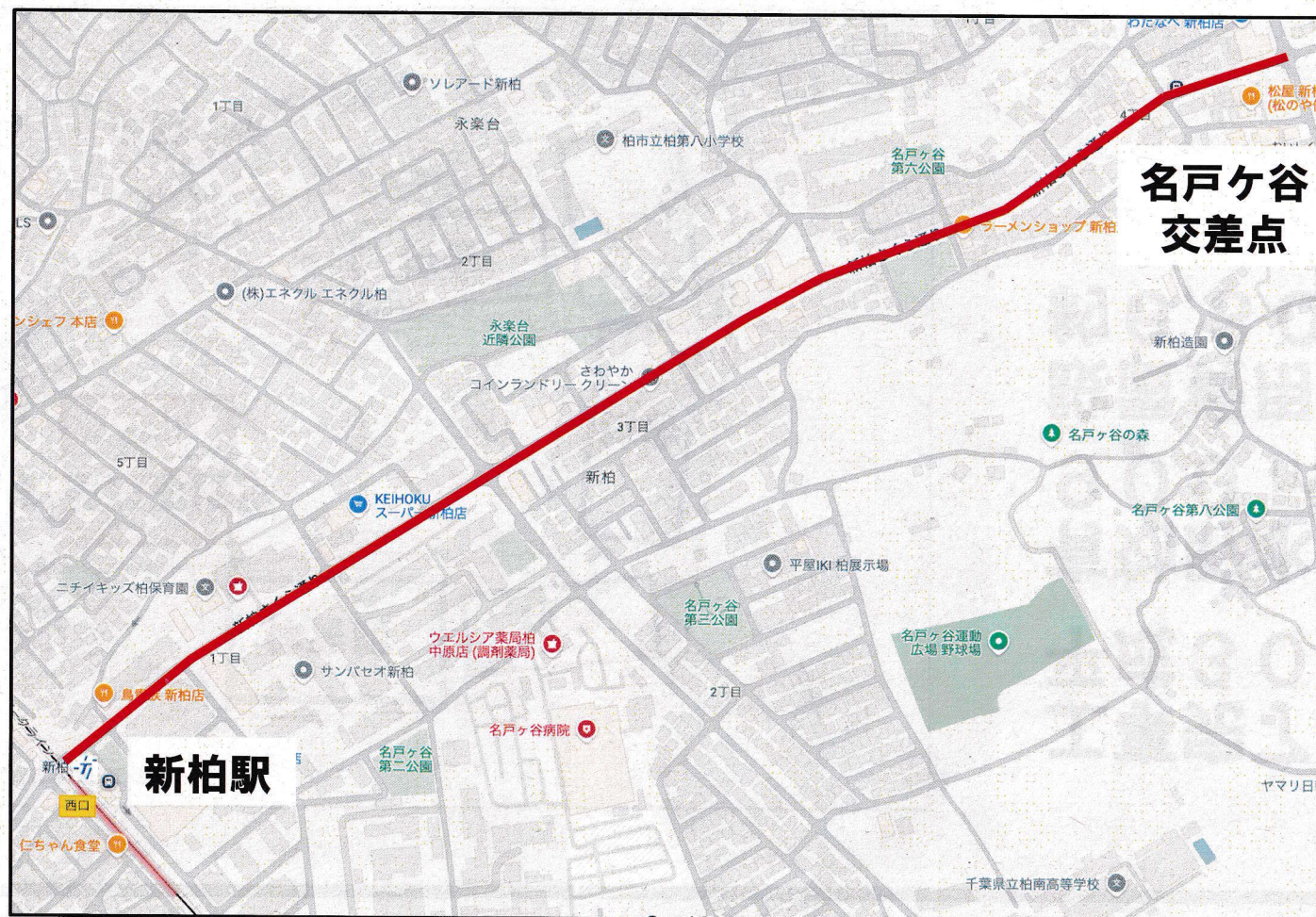


工事完了
平成30年3月

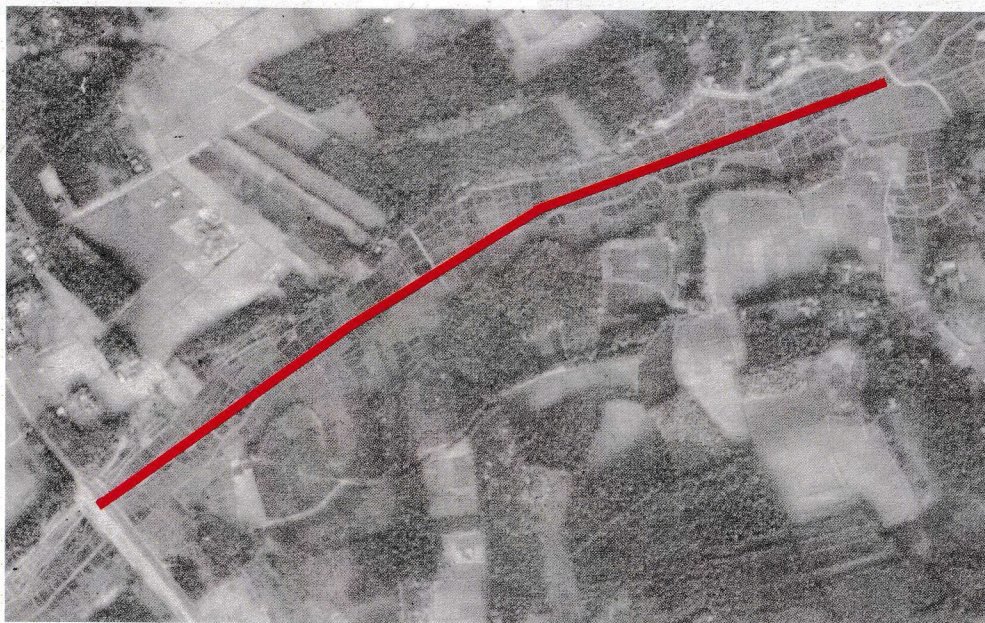
有効貯水量
900 m³

設置費用
約6,300万円

3 新柏・増尾地区における治水対策：③ 新柏さくら通り



3 新柏・増尾地区における治水対策：③ 新柏さくら通り



1947年（昭和22年）



2019年（令和元年）

3 新柏・増尾地区における治水対策：③ 新柏さくら通り



永楽台近隣公園

黄色 = 高地
青色 = 低地

新柏駅

名戸ヶ谷病院

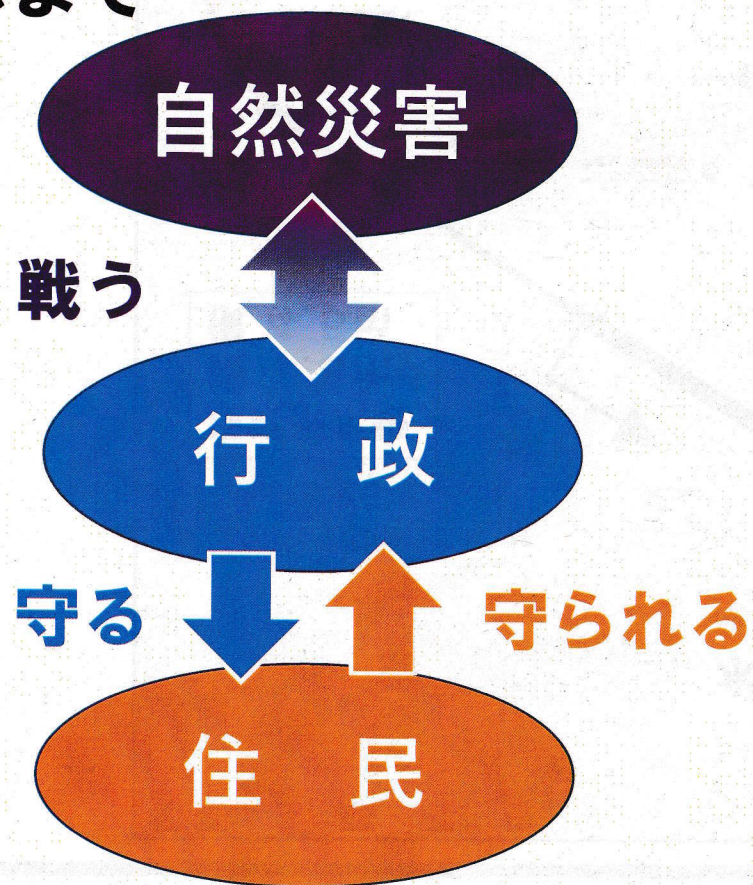
3 新柏・増尾地区における治水対策：③ 新柏さくら通り



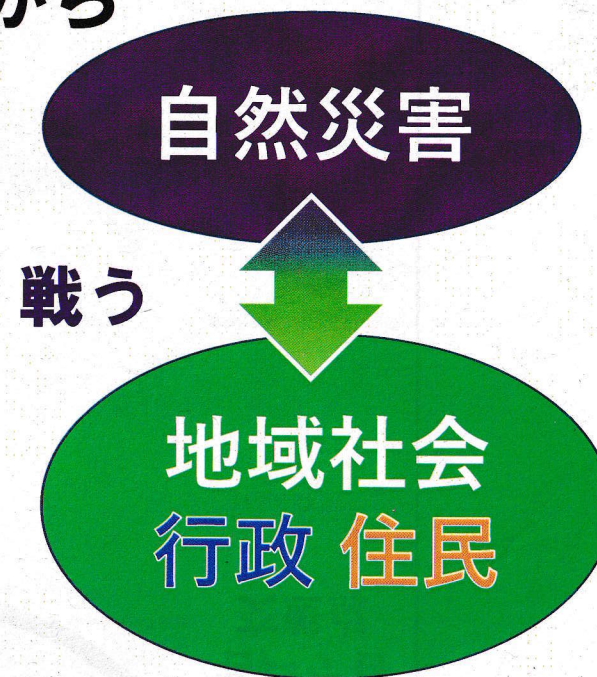
4 これからの日本の防災



これまで



これから

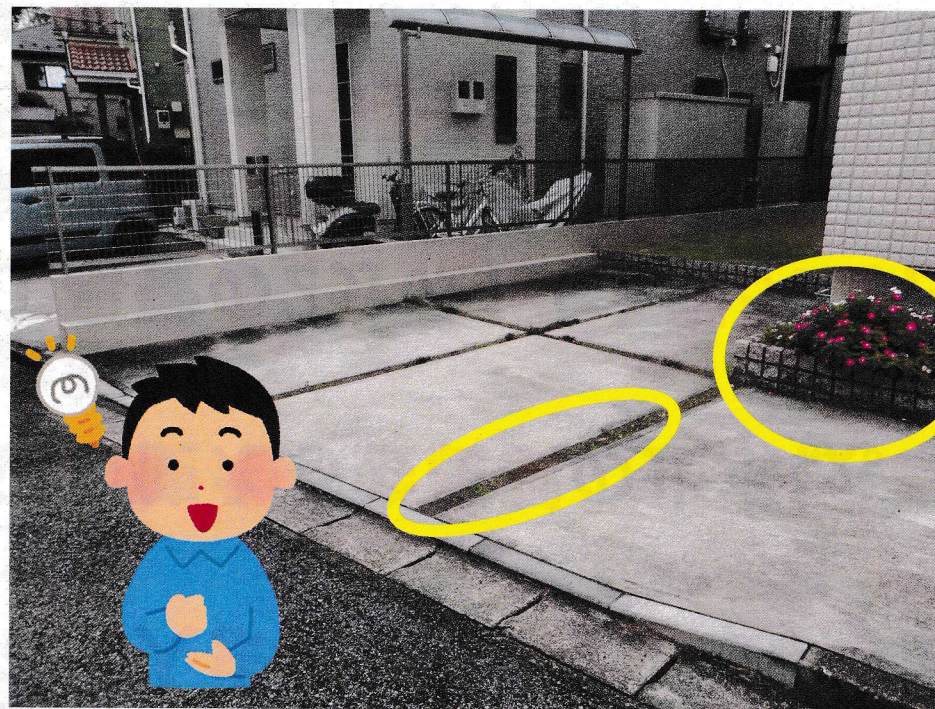


官民一体の防災体制

4 これからの日本の防災：自助の例（宅内浸透）



コンクリートで覆われ、
雨水が道路へ**流出**する。



目地や花壇を設けることで、
雨水の**浸透**が期待できる。

5 柏市止水板設置工事補助制度



止水板設置工事費用の助成について

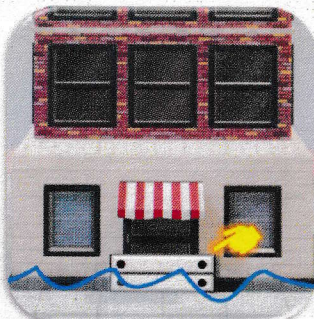
浸水からあなたの建物を守りませんか？

設置工事費に要する

費用の1/2(上限50万円)を補助します。



戸建住宅の例



共同住宅の例

止水板とは？

浸水に耐え得る丈夫な金属製で、かつ、取り付けや取り外しにより、繰り返し使用可能なもの（土地に固定するための支柱等一式を含む。）
浸水が想定される前に準備することで、建物や敷地内への浸水を防ぐことが出来ます。

柏市

対象者

浸水被害が見込まれる市内建築物を有する**個人または法人**。

対象工事

繰り返し使える**金属製**の止水板。

補助金額

設置工事費の2分の1（**上限50万円**）。

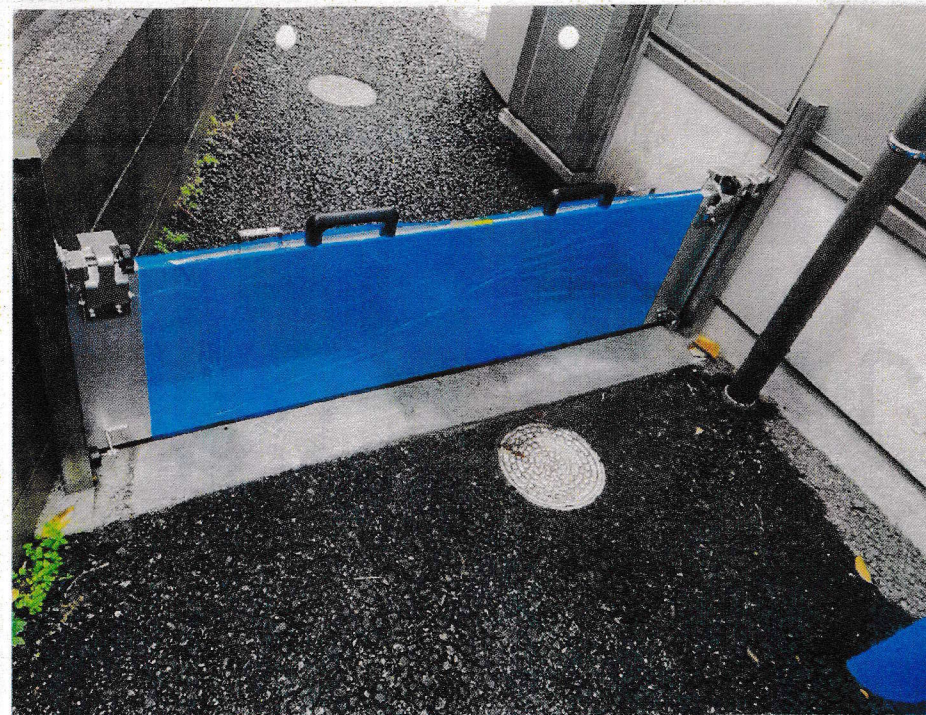
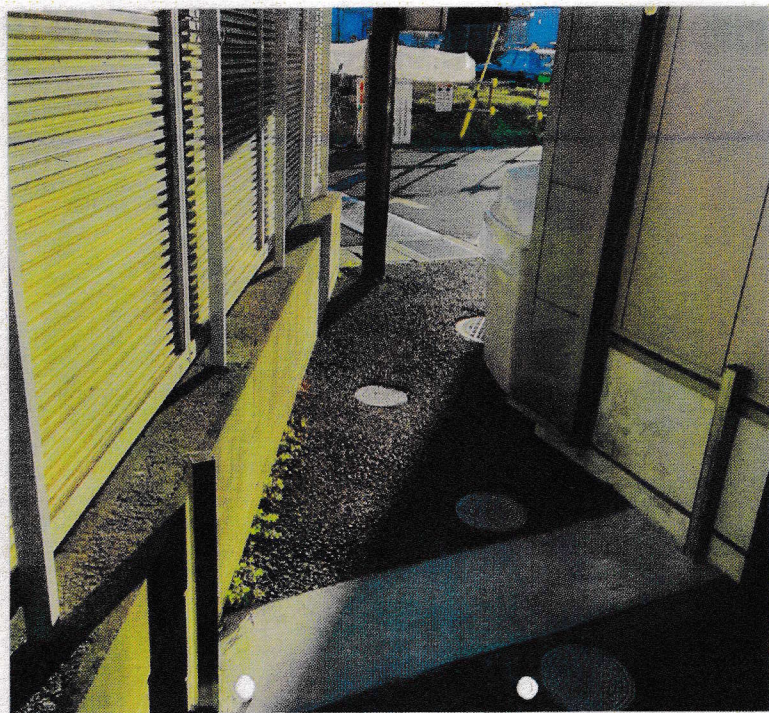
申請期間

令和8年**4月～5月**予定。

詳しくは、柏市ホームページをご確認下さい。

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/kasenhaisui/shisuibanhojyo.html>

5 柏市止水板設置工事補助制度：施工例

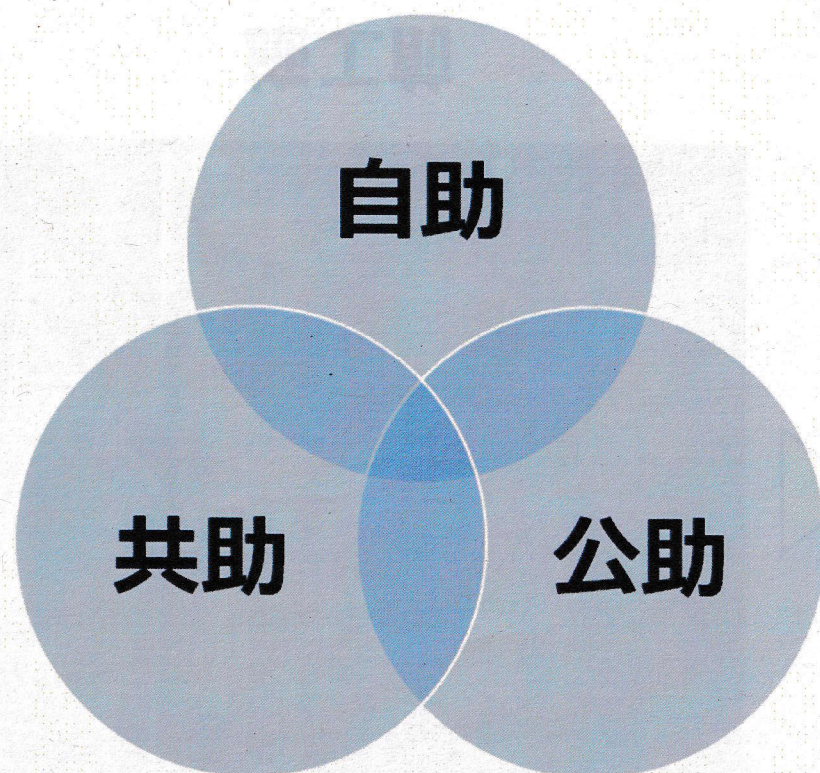


施工前

施工後



自分の身は自分で守る



ご清聴、
ありがとうございました。

顔の見える範囲・コミュ
ニティで助け合う

公的機関が自助・共助
で解決できない問題に
あたる